

# KRC WEB REPORT

## KRC ウェブレポート

2007年1月23日号 No.046

今月のキーワード：地盤沈下量などの空間補間

## 徒然想

先日、農村地帯を車で走っておりましたら、あちらこちらで「とんど焼き」を見ることができました。この季節には欠かせない風景です。書き初めを焼いた時に、炎が高く上がると字が上達すると言われたことをよく覚えています。農村の伝統的な行事ですが、最近ではダイオキシン問題で取りやめているケースも多くあるそうです。墨汁の質にも、その一因があると聞きました。時代は変わっていくものですが、寂しさを伴う変化があまりに多いと感じてしまいます。文明の発達は、果たして文化を豊かにしているのでしょうか。文化は、暮らしに夢をトッピングして育ちます。その暮らしのインフラを陰で支え続ける技術者たちは、未来への夢を持って歴史あるさまざまな文明・文化も支えていけると信じています。



無病息災を祈る伝統的な農村のとんど焼きは、こうした稲刈り後の水田で行われる。  
[asahi.com マイタウン広島「各地で「とんど焼き」行事」(1/15)]へ

## KRC TECHNICAL TOPICS

### クリギングによる空間補間プログラム

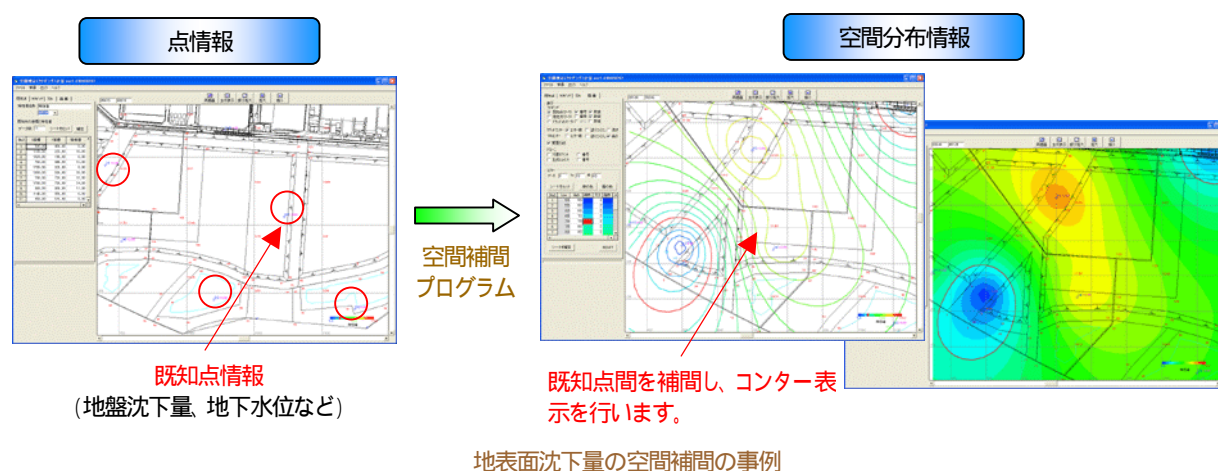
地盤沈下量、地下水位などは、その状況を面的に把握することが重要となります。しかし、各種調査や観測によって得られる情報は基本的に点情報です。

本プログラムは、地盤調査結果や地盤沈下量、地下水位観測結果などの点情報から、クリギングによる空間補間を行い、面情報(空間分布)を求めるものです。操作は簡単で、既知点のデータ(座標及び対象となる特性値)を入力し、空間分布を求めるグリッド(間隔)を設定して、計算を実行するだけです。結果は、コンターとして表示され、画像やCADとして出力することも可能です。また、任意の点についての推定も可能です。

下の事例は、沈下板により測定した複数点の地表面沈下量より空間補間を行った事例です。本プログラムを使用することにより、地表面沈下量の状況を面的かつ視覚的に把握できることが分かります。その他、地下水位や、残留沈下、地質情報など連続して分布するデータの補間処理に対して有効です。

クリギング:既知点のデータから、ある地点における値を推定する空間補間手法。

->> 詳細はこちら [ [http://www.krcnet.co.jp/f\\_tech22.htm](http://www.krcnet.co.jp/f_tech22.htm) ]



(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: [krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) ホームページ: [http://www.krcnet.co.jp/mail/mail\\_maga.htm](http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm) で承っております。